

事務事業評価シート

事務事業コード	007600	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	医師確保対策事業		所属名	公営企業 鳥取市立病院	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市立病院医師奨学金貸与 条例
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0		
			0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	その他
予算	予算事業名				予算事業コード	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市立病院の常勤医師
意図 (どのような状態 にするために)	地域医療を支える自治体病院として、また、東部医療圏の中核病院として地域住民に安定した医療機能体制の提供
手段 (どうするのか)	将来、鳥取市立病院において医師として勤務しようとする医学生に対し、奨学金を貸与することにより、鳥取市立病院における医師の確保を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績		医師奨学生の募集・決定(新1年生2名+欠員分)し、奨学金を貸与(12名)する。	医師奨学生の募集・決定(新1年生2名+欠員分)し、奨学金を貸与する。	医師奨学生の募集・決定(新1年生2名+欠員分)し、奨学金を貸与する。	医師奨学生の募集・決定(新1年生2名+欠員分)し、奨学金を貸与する。	医師奨学生の募集・決定(新1年生2名+欠員分)し、奨学金を貸与する。
		医師奨学生の決定 0名 奨学金の貸与5名	医師奨学生の決定 0名 奨学金の貸与4名	医師奨学生の決定 0名 奨学金の貸与2名	医師奨学生の決定 0名 奨学金の貸与1名		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	12,361	9,966	5,162	2,760	0	
	直接経費 A	12,000	9,600	4,800	2,400	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	12,000	9,600	4,800	2,400	0		
人件費 B	361	366	362	360	0		
職員数の内訳	正規職員	0.05	0.05	0.05	0.05	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	医師奨学生数(定員:各学年2名 計12名)	人	目標	12
	(指標の説明)		実績	5	4	2	1	0
2	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取市立病院総務課 0857-37-1522</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算</p> <p>【事業の概要】 将来、鳥取市立病院において医師として勤務しようとする医学生に対し、奨学金を貸与することにより、鳥取市立病院における医師の確保を図る。</p> <p>【事業の成果】 令和元年度は、奨学生の応募がなかったため、新規奨学生の確保は行えなかった。 また、当院で初期研修2年を終えた1名が、整形外科医として診療を開始した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 全国的に医師不足と言われる中、大学医局人事に頼らない医師の確保策として、独自の奨学金制度は必要と考えており、今後PR等の強化を図っていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	医師奨学生数(定員:各学年2名 計12名)	42%	33%	17%	8%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>目的とする医師の確保については、全体の医師数は、一部不足する専門医がいる診療科もあるが、大学医局への働きかけを積極的に行っていること等により一定水準を保っている。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>新規の奨学生は、平成28年度以降、応募があっても辞退された年も含め、決定をできていない。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>全国的に医師不足と言われる中、大学医局人事に頼らない医師の確保策として、独自の奨学金制度は必要と考えており、今後PR等の強化を図ります。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	007700	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	単位老人クラブ活動助成事業		所属名	福祉部 長寿社会課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	単位老人クラブ活動補助金			予算事業コード	01-03-01-05-11-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	単位老人クラブ
意図 (どのような状態 にするために)	高齢者の生きがいを高めるとともに健康づくりを促進し、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上のため。
手段 (どうするのか)	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		年度別計画	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。
年度別実績	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。	市内の老人クラブの活動に対し補助金を交付する。		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	16,604	16,139	15,760	15,053	0	
	直接経費 A	15,160	14,675	14,311	13,615	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	10,434	10,183	4,783	4,782	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,726	4,492	9,528	8,833	0		
人件費 B	1,444	1,464	1,449	1,438	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	老人クラブ会員の維持	人	目標	12935
	(指標の説明)		実績	12908	12655	12432	11863	0
2	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】管理係 0857-30-8211</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 高齢者の生きがいや健康づくりを推進する老人クラブの活動に対し、老人クラブの会員数に応じて助成を行う。</p> <p>【事業の成果】 老人クラブの活動を支援し、高齢者のつながりや生きがい、健康づくりを推進した。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">[決算額]</td> <td style="text-align: center;">[クラブ数]</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: center;">14,675千円</td> <td style="text-align: center;">258クラブ</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: center;">14,311千円</td> <td style="text-align: center;">250クラブ</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td style="text-align: center;">13,615千円</td> <td style="text-align: center;">243クラブ</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 老人クラブは、会員の健康づくりや介護予防の取り組みに加え、子どもの通学時の見守り活動や小学校花壇整備等のボランティア活動なども行っている。地域福祉の重要な担い手として更なる活動の展開が期待される場所であるが、クラブ数及び会員とも減少傾向が続いており、会員の増加に向けた取り組みが必要である。</p>		[決算額]	[クラブ数]	平成29年度	14,675千円	258クラブ	平成30年度	14,311千円	250クラブ	令和元年度	13,615千円	243クラブ
		[決算額]	[クラブ数]										
平成29年度	14,675千円	258クラブ											
平成30年度	14,311千円	250クラブ											
令和元年度	13,615千円	243クラブ											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	老人クラブ会員の維持	100%	100%	98%	94%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上を図るため、継続実施すべきものと考える。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	007800	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	高齢者介護予防支援バス運行事業		所属名	福祉部 長寿社会課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の まちづくり	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の種別	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
			0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	高齢者福祉・ボランティアバス運行事業費			予算事業コード	01-03-01-01-08-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	60歳以上の高齢者の団体
意図 (どのような状態 にするために)	高齢者の健康保持を目的とする教養講座など高齢者が参加する機会の拡大
手段 (どうするのか)	運行条件を満たす場合に、バスを運行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		高齢者バスの運行	高齢者バスの運行	高齢者バスの運行	高齢者バスの運行	高齢者バスの運行	
年度別実績		高齢者バスの運行 運行件数:591件 利用者数:10,580人	高齢者バスの運行 運行件数:576件 利用者数:10,126人	高齢者バスの運行 運行件数:623件 利用者数:10,993人	高齢者バスの運行 運行件数:596件 利用者数:10,245人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	7,977	8,297	9,281	11,704	0	
	直接経費 A	7,833	8,151	9,136	11,560	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	7,833	8,151	5,122	7,171	0
一般財源	0	0	4,014	4,389	0		
人件費 B	144	146	145	144	0		
職員数の内訳	正規職員	0.02	0.02	0.02	0.02	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	バスの運行件数	件	目標	592	591	591	591	591
				実績	591	576	623	596
2	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
3	(指標の説明)		目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】管理係 0857-30-8211</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P56(福010) 9月補正・P4(福001)</p> <p>【事業の概要】 高齢者介護予防支援バス運行により、高齢者の社会的な活動の参加を推進し、高齢者自身の生きがいづくりや介護予防を図る。 また、ボランティアバスを運行しボランティア活動を行う者の利便を図ることで、市民の社会奉仕活動の促進を図る。 市内を東部、西部、南部の3ブロックに分け、利用状況によりブロック間の相互利用を行いながらバスを運行することで、利用機会の拡大を図っている。</p> <p>【事業の成果】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">[利用件数]</td> <td style="text-align: center;">[利用者数]</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: center;">645件</td> <td style="text-align: center;">10,960人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: center;">688件</td> <td style="text-align: center;">11,809人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td style="text-align: center;">653件</td> <td style="text-align: center;">10,912人</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">ボランティアバスの実績を含む。</p> <p>【今後の課題・方向性】 公共交通機関利用助成事業への転換などを含め、将来的な事業のあり方を検討する必要がある。</p> <p style="text-align: center;">その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。</p>		[利用件数]	[利用者数]	平成29年度	645件	10,960人	平成30年度	688件	11,809人	令和元年度	653件	10,912人
	[利用件数]	[利用者数]											
平成29年度	645件	10,960人											
平成30年度	688件	11,809人											
令和元年度	653件	10,912人											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	バスの運行件数	100%	97%	105%	101%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

公共交通機関利用促進事業への転換も含め効率的な事業の実施について検討を要するが、現時点においては高齢者が社会参加する機会の拡充を図るため継続実施すべきものと考えます。

事務事業評価シート

事務事業コード	007900	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	公共交通機関利用助成事業		所属名	福祉部 長寿社会課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	公共交通機関利用助成事業費			予算事業コード	01-03-01-05-13-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 60歳以上の高齢者の団体 ・ 各地区公民館を拠点に活動している団体
意図 (どのような状態 にするために)	高齢者の健康保持を目的とする教養講座など各種研修、生きがいを高めるためのレクリエーションへの参加など条件を満たす場合、また市民が、研修会などへ参加するための貸切バス利用の助成を行うことで、市民が研修を受ける機会の拡大を図る。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者福祉バスが運行できない運行時間外、土日祝祭日、年末年始を補完するため、貸切バスの利用に対して助成を行う。 ・ 各地区公民館を拠点に活動している団体が、各種大会、研修会などへ参加するため貸切バスを利用した場合助成を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 公共交通機関利用助成	平成29年度 公共交通機関利用助成	平成30年度 公共交通機関利用助成	令和元年度 公共交通機関利用助成	令和2年度 公共交通機関利用助成	
	年度別実績	公共交通機関利用助成 利用件数:122件	公共交通機関利用助成 利用件数:112件	公共交通機関利用助成 利用件数:117件	公共交通機関利用助成 利用件数:111件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	6,845	6,330	6,544	6,416	0	
	直接経費 A	6,701	6,184	6,399	6,272	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,701	6,184	6,399	6,272	0		
人件費 B	144	146	145	144	0		
職員数の内訳	正規職員	0.02	0.02	0.02	0.02	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	助成件数	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			件	目標	118	123	120	120	120
			実績	122	112	117	111	0	
		(指標の説明)							
	2		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】管理係 0857-30-8211</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P61(福019)</p> <p>【事業の概要】 高齢者の団体が、広く地域社会との交流を図り、生きがいを高めるためのレクリエーション、健康保持のための教養講座、研修などに参加する場合、または、市民が地域活動や研修会などへ参加する場合において、貸切バスなどを利用した場合、その経費の一部を助成する。</p> <p>(対象等)・60歳以上の高齢者の団体、また各地区公民館を拠点に活動している団体 ・対象となる5万円までの基本運賃に対して、10/10助成する。 ・利用回数は、年度中に1団体1回 (助成上限)50,000円</p> <p>【事業の成果】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">[決算額]</th> <th style="text-align: center;">[利用件数]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: center;">6,184千円</td> <td style="text-align: center;">112件(高齢者72件・一般40件)</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: center;">6,399千円</td> <td style="text-align: center;">117件(高齢者71件・一般46件)</td> </tr> <tr> <td>平成元年度</td> <td style="text-align: center;">6,272千円</td> <td style="text-align: center;">111件(高齢者76件・一般35件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 高齢者の社会参加の促進は、健康づくりや介護予防にも効果があり、継続して取り組むことで高齢者福祉の増進を図る。</p>		[決算額]	[利用件数]	平成29年度	6,184千円	112件(高齢者72件・一般40件)	平成30年度	6,399千円	117件(高齢者71件・一般46件)	平成元年度	6,272千円	111件(高齢者76件・一般35件)
	[決算額]	[利用件数]											
平成29年度	6,184千円	112件(高齢者72件・一般40件)											
平成30年度	6,399千円	117件(高齢者71件・一般46件)											
平成元年度	6,272千円	111件(高齢者76件・一般35件)											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	助成件数	103%	91%	98%	93%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>高齢者が社会参加する機会の拡充を図るため継続実施すべきものとする。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	008000	重点施策	まちづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	介護予防教室事業		所属名	福祉部 長寿社会課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成18年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	特別会計
			0	0		
予算	予算事業名	おたっしや教室事業費			予算事業コード	15-09-01-02-01-03

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	運動機能等の低下など要介護状態等となるおそれの高い状態にある高齢者
意図 (どのような状態 にするために)	自発的・継続的な介護予防の取組みを促進
手段 (どうするのか)	介護予防に資する通所型運動教室を実施して、介護予防の知識・意識を啓発する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 おたっしや教室開催 目標参加者 710人 ・地区公民館型 540人 ・健康増進施設型 180人	平成29年度 おたっしや教室開催 目標参加者 720人 (地区公民館のみ)	平成30年度 おたっしや教室開催 目標参加者 460人	令和元年度 おたっしや教室開催 目標参加者 460人	令和2年度 おたっしや教室開催 目標参加者 460人	
	年度別実績	おたっしや教室開催 実績 開催:4施設、36教室 参加者:729人 ・地区公民館型 549人 ・健康増進施設型 180人	おたっしや教室 実績 開催:58教室 参加者:457人	おたっしや教室 実績 開催:58教室 参加者:472人	おたっしや教室 実績 開催:57教室 参加者:430人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	32,512	29,308	29,530	28,847	0	
	直接経費 A	32,512	27,478	27,719	27,049	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	12,192	9,087	9,843	9,654	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	16,256	14,847	14,998	14,578	0
一般財源	4,064	3,544	2,878	2,817	0		
人件費 B	0	1,830	1,811	1,798	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.25	0.25	0.25	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	参加人数	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			人	目標	710	720	460	460	460	
			実績	729	457	472	430	0		
		(指標の説明) おたっしや教室参加人数(実)								
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と運動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域包括ケア推進係 0857-30-8213</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P313(介004)</p> <p>【事業の概要】 高齢者が要支援・要介護状態になることを予防し、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、運動器機能の維持・向上のための運動の指導・習慣化を図る教室を、地区公民館等で開催し、高齢者の自発的・継続的な介護予防の取組みを促進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・概ね毎週1回、全12回(3か月間)開催 ・教室1回あたり90分間、運動指導に加え、栄養・口腔に関する講話を実施 ・利用料：500円 ・必要に応じて送迎あり ・教室終了後も自発的に活動継続できるよう、地域の介護予防教室やサロン等の紹介 <p style="text-align: center;">[公民館型数(教室数)]</p> <p>平成29年度 452名(計58教室) 平成30年度 472名(計58教室) 令和元年度 430名(計57教室)</p> <p>【事業の成果】 当事業は、平成28年度までは2次予防事業としてハイリスク高齢者全員に実施してきたが、制度の遷移に併せ、平成29年度より対象を全ての高齢者に移行した。また介護予防サービスの多様化、介護予防・日常生活支援総合事業サービスの創設に伴い、虚弱高齢者と軽度の要介護者に特化した介護予防事業として他サービスとの位置づけが明確になってきている。</p> <p>【今後の課題・方向性】 減少する参加者数を利用者の増加に転じることが課題。事業の周知方法を再検討し、改善策を講じる必要がある。</p> </p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	参加人数	103%	63%	103%	93%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>高齢者の自発的・継続的な介護予防の取組を促進するため、随時事業内容の見直しを行いながら継続的に実施していきたいと考える。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	008100	重点施策	まちづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	認知症地域支援・ケア向上事業		所属名	福祉部 長寿社会課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成27年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	介護保険法
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	特別会計
			0	0		
予算	予算事業名	認知症地域支援・ケア向上事業費			予算事業コード	15-09-02-01-05-02

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	認知症の人
意図 (どのような状態 にするために)	できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができるようにする。
手段 (どうするのか)	認知症地域支援推進員を配置し、認知症の人やその家族の相談支援の実施と医療・介護等の関係機関と連携して、地域における認知症の人の支援体制の構築と認知症ケアの向上に取り組む。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		認知症地域支援推進員配置数 1名 認知症カフェ設置数 7箇所	認知症地域支援推進員配置数 2名 認知症カフェ設置数 8箇所	認知症地域支援推進員配置数 2名 認知症カフェ設置数 10箇所	認知症地域支援推進員配置数 2名 認知症カフェ設置数 10箇所	認知症地域支援推進員配置数 7名 認知症カフェ設置数 10箇所	
事業費	年度別実績	認知症地域支援推進員配置数 1名 認知症カフェ設置数 7箇所	認知症地域支援推進員配置数 2名 認知症カフェ設置数 8箇所	認知症地域支援推進員配置数 2名 認知症カフェ設置数 8箇所	認知症地域支援推進員配置数 1名 認知症カフェ設置数 9箇所		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
事業費	事業費(A+B)	6,842	10,981	11,243	7,128	0	
	直接経費 A	5,398	9,517	9,794	5,690	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	3,158	5,567	5,656	3,286	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,187	2,094	2,253	1,309	0
一般財源	1,053	1,856	1,885	1,095	0		
人件費 B	1,444	1,464	1,449	1,438	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	認知症地域支援推進員配置数	人	目標	1
			実績	1	2	2	1	0
	(指標の説明) 令和2年度より拡充を進める地域包括支援センターに配置する。							
2	認知症カフェ設置数	箇所	目標	7	8	10	15	18
			実績	7	8	8	9	0
	(指標の説明) 日常生活圏域に1か所の認知症カフェの設置を目指す。							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域包括ケア推進係 0857-30-8213</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P315(介008)</p> <p>【事業の概要】 国が策定した認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)に沿って「認知症になって も本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けることので きる社会」の実現を目指し、認知症施策の充実に取り組んでおり、平成27年7月より認 知症地域支援推進員を法人委託により配置し、官民協働で認知症施策を推進している。</p> <p>【事業の成果】 認知症地域支援推進員が、認知症の人やその家族の専門的な相談対応や支援の仕組づく り、あるいは関係者の認知症対応力の向上に取り組むことで、本市の認知症ケアの向上と 医療・介護等の関係機関との連携強化につながった。さらに、認知症の人やその家族等の 身近な集いの場、あるいは相談や情報収集が可能な場となる認知症カフェの運営支援を行 い、認知症支援の充実につながった。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">[決算額]</td> <td style="text-align: center;">[推進員配置数]</td> <td style="text-align: center;">[認知症カフェ箇所数]</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: center;">5,398千円</td> <td style="text-align: center;">1名</td> <td style="text-align: center;">7箇所</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: center;">9,517千円</td> <td style="text-align: center;">2名</td> <td style="text-align: center;">8箇所</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: center;">9,794千円</td> <td style="text-align: center;">2名</td> <td style="text-align: center;">8箇所</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td style="text-align: center;">5,690千円</td> <td style="text-align: center;">1名</td> <td style="text-align: center;">9箇所</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 令和2年度より運営委託により拡充を進める地域包括支援センターにも認知症地域支援 推進員を順次配置し、認知症施策の取り組みをさらに進めていく。</p>		[決算額]	[推進員配置数]	[認知症カフェ箇所数]	平成28年度	5,398千円	1名	7箇所	平成29年度	9,517千円	2名	8箇所	平成30年度	9,794千円	2名	8箇所	令和元年度	5,690千円	1名	9箇所
		[決算額]	[推進員配置数]	[認知症カフェ箇所数]																	
平成28年度	5,398千円	1名	7箇所																		
平成29年度	9,517千円	2名	8箇所																		
平成30年度	9,794千円	2名	8箇所																		
令和元年度	5,690千円	1名	9箇所																		

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	認知症地域支援推進員配置数	100%	100%	100%	50%	
	2	認知症カフェ設置数	100%	100%	80%	60%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	<p>認知症地域支援推進員2名の確保を目標としていたが、1名での活動となつた。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>目標の15か所には達しなかったが、立ち上げたものの主たる運営者が体調不良となり休止したもの、不定期開催のカフェや、おれんじカフェを目指したが地域カフェになったものなどがあり、認知症カフェの思いを持った場合は徐々に増えている状況にある。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>高齢者の増加に伴い認知症の人も増加が見込まれており、認知症支援体制の充実を図るため、より地域に密着した認知症地域支援推進員の増員配置を推進することが急務である。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	008200	重点施策	まちづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	認知症初期集中支援推進事業		所属名	福祉部 長寿社会課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	介護保険法
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	特別会計
			0	0		
予算	予算事業名	認知症初期集中支援推進事業費			予算事業コード	15-09-02-01-05-04

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	認知症の人
意図 (どのような状態 にするために)	早期診断・早期対応により医療・介護サービス等による適切な支援に移行する
手段 (どうするのか)	医療・介護の専門職で取組む認知症初期集中支援チームを設置し、初期集中支援を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別計画	認知症初期集中支援 チームの設置 1チーム	認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム	認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム	認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム	認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム	
年度別実績	認知症初期集中支援 チームの設置 1チーム	認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム	認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム	認知症初期集中支援 チームの設置 2チーム			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,993	3,399	4,542	4,345	0	
	直接経費 A	549	1,311	3,093	2,907	0	
	直接経費の財 源内訳	国・県	321	767	1,786	1,679	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	121	288	711	669	0
一般財源	107	256	596	559	0		
人件費 B	1,444	2,088	1,449	1,438	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	チームの設置数	箇所数	目標	1	1	2	2	2
				実績	1	2	2	2
(指標の説明) チームを地域包括支援センターに1箇所設置する。								
2	初期集中支援ケース数	件数	目標	5	50	40	40	60
				実績	5	13	15	13
(指標の説明) 1チームあたり20件の初期集中支援検討とする。								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域包括ケア推進係 0857-30-8213</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けるために、認知症の人やその家族に早期に関わる医療職・介護職で構成する「認知症初期集中支援チーム」を設置し、地域のかかりつけ医や介護事業者等と連携して、認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。</p> <p>【事業の成果】 認知症初期集中支援チームを設置し、認知症の人やその家族の初期の支援を包括的・集中的に行うことで、認知症の人の早期診断・早期対応、あるいは支援体制の構築などに取り組んだ。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td>[決算額]</td> <td>[チーム数]</td> <td>[初期集中支援ケース数]</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>549千円</td> <td>1チーム</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>1,311千円</td> <td>2チーム</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>3,093千円</td> <td>2チーム</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>2,906千円</td> <td>2チーム</td> <td>13件</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 認知症初期集中支援チームの取り組みは、どのような支援ケースが有効なのか、医療や介護の専門職、あるいは地域の福祉関係者等にまだ十分に浸透していないと思われるため、一層の周知が必要と考える。また、チーム数を増加させ、1チームの活動範囲を狭くすることで、より身近な存在となる仕組みとするため、人員体制の強化についても検討していく。</p>		[決算額]	[チーム数]	[初期集中支援ケース数]	平成28年度	549千円	1チーム	5件	平成29年度	1,311千円	2チーム	13件	平成30年度	3,093千円	2チーム	15件	令和元年度	2,906千円	2チーム	13件
		[決算額]	[チーム数]	[初期集中支援ケース数]																	
平成28年度	549千円	1チーム	5件																		
平成29年度	1,311千円	2チーム	13件																		
平成30年度	3,093千円	2チーム	15件																		
令和元年度	2,906千円	2チーム	13件																		

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	チームの設置数	100%	200%	100%	100%	
	2	初期集中支援ケース数	100%	26%	38%	33%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>目標の40件に対して13件となった。今後認知症高齢者の増加が見込まれ、ますます重要性が増す中、相談窓口となっている包括支援センターが支援チームに相談がしにくい現状があり、事業及び包括の運営方法に改善が必要と考える。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>認知症の早期発見・早期対応は、認知症施策において重点的な取り組みに位置づける事業であり、認知症地域支援推進員の増員配置と連動させながら認知症初期集中支援チームの拡充を図っていきたいと考える。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	008300	重点施策	まちづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業		所属名	福祉部 長寿社会課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成27年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	介護保険法
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	特別会計
			0	0		
予算	予算事業名	在宅医療・介護連携推進事業費(事業運営費)			予算事業コード	15-09-02-01-03-02

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	医療や介護が必要となった住民
意図 (どのような状態 にするために)	住み慣れた地域で可能な限り最後まで暮らし続けることができるように
手段 (どうするのか)	鳥取県東部医師会を拠点に、関係する医療・介護の多職種で、課題解決の検討、情報共有、知識向上研修の場を設け更なる連携を強化し、東部地域全体で住民の在宅療養(生活)を支える仕組みを構築していく。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 厚生労働省が示している8項目の事業を早期に開始できるよう取り組む	平成29年度 厚生労働省が示している8項目の事業すべて取り組みを開始する	平成30年度 厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続、進展させる	令和元年度 厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続、進展させる	令和2年度 厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続、進展させる	
	年度別実績	厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを開始した	厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続実施した	厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続実施した	厚生労働省が示している8項目の事業すべての取り組みを継続実施した		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	27,018	26,287	22,306	22,464	0	
	直接経費 A	12,580	11,649	7,820	8,084	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	5,783	5,369	3,561	3,690	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	4,869	4,490	3,072	3,165	0
一般財源	1,928	1,790	1,187	1,229	0		
人件費 B	14,438	14,638	14,486	14,380	0		
職員数の内訳	正規職員	2.00	2.00	2.00	2.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		取り組みを開始した厚生労働省が示す事業項目数	項目	目標	7	8	8	8	8
			実績	8	8	8	8	0	
		(指標の説明)							
	2		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】医療介護連携係 0857-54-1970</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P314(介006)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、県東部圏域の1市4町と県東部医師会が連携して、国が定める在宅医療・介護連携を推進するための8つの施策を実施する。</p> <p>(参考)国が定める市町村が実施すべき8つの施策</p> <p>医療・介護資源の把握、課題抽出・対策検討、関係者の研修 在宅医療・介護の提供体制の構築推進、情報共有の支援、相談支援 住民への普及啓発、関係市町村の連携</p> <p>【事業の成果】</p> <p>在宅医療・介護連携を推進するため、次の取り組みを行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 東部地区在宅医療介護連携推進協議会やワーキンググループ、他団体との各種検討会議により、課題解決に向けた活動を実施した。 [施策] 2 「医療・介護資源マップ」の随時調査及び情報更新を実施した。 [施策] 3 連携中枢都市圏で終活支援ノートを作成し、寸劇DVD、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)パンフレットと一緒に活用した住民啓発学習会(37回)を開催した。 [施策] 4 事例検討等を行う多職種研修会(7回)、多職種関係者向けのACP周知研修会(4回：住民啓発内容の周知)、先進事例の講演会(1回)を開催した。 [施策] 5 医療や介護の関係者からの相談支援を継続実施した。 [施策] 6 入退院時の病院とケアマネジャーの連携・情報共有の手引きを策定。 [施策] <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>課題の検討や多職種研修を通じた関係者間の良好な関係性の構築や知識向上により、更なる連携強化を目指す。今後は認知症や看取りに関する取り組み強化が求められている。生活支援体制整備や認知症施策等の他の地域支援事業との連携強化も課題。住民に対しては、ACPの必要性、自助・互助が重要なことを引き続き周知していく必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	取り組みを開始した厚生労働省が示す事業項目数	114%	100%	100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには在宅療養の環境整備が不可欠であり、在宅療養の環境整備を図るため在宅医療・介護連携の取り組みを継続的に実施していくことが必要と判断する。</p> <p>地域包括ケアシステム構築の深化に向けて、生活支援体制整備や認知症施策等の他の地域支援事業との連携も強化していかなければならない。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	008400	重点施策	まちづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	生活支援体制整備事業		所属名	福祉部 長寿社会課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成27年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	介護保険法
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業区分区分	ソフト(義務)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	特別会計
			0	0		
予算	予算事業名	生活支援体制整備事業費(事業運営費)			予算事業コード	15-09-02-01-04-02

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	高齢者
意図 (どのような状態 にするために)	既存の通所介護や訪問介護だけでなく多様な担い手による生活支援サービスの提供体制を確保する。
手段 (どうするのか)	関係多職種による「鳥取市地域包括ケアシステム推進連絡会」を設置して定期的に情報共有・連携強化に取り組むとともに、「生活支援コーディネーター」を配置して地域の生活支援サービスの担い手の育成や立ち上げ支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 生活支援コーディネーターの配置 4名	平成29年度 鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 生活支援コーディネーターの配置 7名	平成30年度 鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 生活支援コーディネーターの配置 8名	令和元年度 鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 3回以上 生活支援コーディネーターの配置 8名	令和2年度 鳥取市地域包括ケアシステム推進連絡会の開催 3回以上 生活支援コーディネーターの配置 8名	
	年度別実績	検討会開催 3回 生活支援コーディネーター4名配置	鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 1回 生活支援コーディネーターの配置 7名	鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会の開催 1回 生活支援コーディネーターの配置 8名	鳥取市生活支援・介護予防サービス検討会(鳥取市地域包括ケアシステム推進連絡会)の開催 1回 生活支援コーディネーターの配置 8名		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	23,635	28,174	34,960	35,303	0	
	直接経費 A	20,025	24,514	31,338	31,708	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	11,714	14,341	18,098	18,312	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	4,406	5,393	7,208	7,293	0
一般財源	3,905	4,780	6,032	6,103	0		
人件費 B	3,610	3,660	3,622	3,595	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		生活支援コーディネーター配置数	人	目標	4	7	8	8	8
	(指標の説明)		実績	4	7	8	8	0	
	2	目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
	3	目標	0	0	0	0	0	0	
実績		0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)									

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域包括ケア推進係 0857-30-8213</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P315(介007)</p> <p>【事業の概要】 単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、既存の通所介護や訪問介護に加え、多様な生活支援サービスの提供体制を確保するため、関係多職種による「協議体」を設置し、「生活支援コーディネーター」を継続して配置することで地域の生活支援サービス提供の担い手の育成や事業立ち上げを促進する。</p> <p>【事業の成果】 「生活支援コーディネーター(第1層：全市域、第2層：日常生活圏域)」は、各地域で取り組まれている事業の充実に向けたてこ入れや、地域が抱える課題の解決に向けた取り組みを中長期の視点で取り組むとともに、第2層協議体の活動の促進や、地域における新たなサービス提供主体の立ち上げに向けた支援などを行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">[決算額]</th> <th style="text-align: center;">[生活支援(C)]</th> <th style="text-align: center;">[検討会会議]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: right;">20,025千円</td> <td style="text-align: center;">4名(第1層:1名、第2層:3名)</td> <td style="text-align: center;">3回</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: right;">24,515千円</td> <td style="text-align: center;">7名(第1層:1名、第2層:6名)</td> <td style="text-align: center;">1回</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: right;">31,329千円</td> <td style="text-align: center;">8名(第1層:1名、第2層:7名)</td> <td style="text-align: center;">1回</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td style="text-align: right;">31,640千円</td> <td style="text-align: center;">8名(第1層:1名、第2層:7名)</td> <td style="text-align: center;">1回</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 第1層協議体において引き続き介護予防・生活支援サービス提供体制の方向性を協議する。生活支援コーディネーターは第2層協議体の設置や活動の継続を支援し、地域資源の調査や地域ニーズの把握を行い、ニーズに応えられる新たな担い手の発掘や養成を行う。</p>		[決算額]	[生活支援(C)]	[検討会会議]	平成28年度	20,025千円	4名(第1層:1名、第2層:3名)	3回	平成29年度	24,515千円	7名(第1層:1名、第2層:6名)	1回	平成30年度	31,329千円	8名(第1層:1名、第2層:7名)	1回	令和元年度	31,640千円	8名(第1層:1名、第2層:7名)	1回
		[決算額]	[生活支援(C)]	[検討会会議]																	
平成28年度	20,025千円	4名(第1層:1名、第2層:3名)	3回																		
平成29年度	24,515千円	7名(第1層:1名、第2層:6名)	1回																		
平成30年度	31,329千円	8名(第1層:1名、第2層:7名)	1回																		
令和元年度	31,640千円	8名(第1層:1名、第2層:7名)	1回																		

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	生活支援コーディネーター配置数	100%	100%	100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>高齢者の多様なニーズに応えられる生活支援サービスの提供体制を確保するため、協議体や生活支援コーディネーターの活動により、地域の生活支援サービス提供の担い手の育成や事業立ち上げを支援していきたいと考える。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	008600	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	佐治町国民健康保険診療所運営事業		所属名	福祉部 保険年金課	

1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成2年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	特別会計
			0	0		
予算	予算事業名	医科運営費			予算事業コード	16-01-01-01-02-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	佐治町をはじめとする地域住民
意図 (どのような状態 にするために)	健康の維持増進及び医療の提供を行うために
手段 (どうするのか)	安定的な医師の確保に努め、診療所の運営・維持を図る

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 医師の勤務しやすい 環境の整備 医師の確保 無医地区の地域医療 サービスの提供	平成29年度 医師の勤務しやすい 環境の整備 医師の確保 無医地区の地域医療 サービスの提供	平成30年度 医師の勤務しやすい 環境の整備 医師の確保 無医地区の地域医療 サービスの提供	令和元年度 医師の勤務しやすい 環境の整備 医師の確保 無医地区の地域医療 サービスの提供	令和2年度 医師の勤務しやすい 環境の整備 医師の確保 無医地区の地域医療 サービスの提供	
	年度別実績	医療機器の整備 県からの自治医大卒 業医師の派遣を継続 医療及び介護サービ ス(訪問リハビリ)の サービスを継続実施	医療機器の整備 県からの自治医大卒 業医師の派遣を継続 医療及び介護サービ ス(訪問リハビリ)の サービスを継続実施	医療機器の整備 県からの自治医大卒 業医師の派遣を継続 医療及び介護サービ ス(訪問リハビリ)の サービスを継続実施	医療機器の整備 県からの自治医大卒 業医師の派遣を継続 医療及び介護サービ ス(訪問リハビリ)の サービスを継続実施		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	79,442	61,092	50,712	57,983	0	
	直接経費 A	51,785	33,189	28,983	36,413	0	
	直接経 費の内訳	国・県	827	866	852	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	34,825	32,323	28,131	36,312	0
一般財源	16,133	0	0	101	0		
人件費 B	27,657	27,903	21,729	21,570	0		
職員数の 内訳	正規職員	3.00	3.00	3.00	3.00	0.00	
	嘱託職員	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	常駐医師数	人	目標	1	1	1	1	1
		(指標の説明)		実績	1	1	1	1	0
	2			目標	0	0	0	0	0
		(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
	3			目標	0	0	0	0	0
		(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】佐治町総合支所市民福祉課 0858-88-0212		
	【10次総の施策体系】1302		
	【予算計上の経過】		
	予算事業別概要目次：当初予算・P304(国010)		
	【事業の概要】		
	無医地域となる佐治地域の住民の健康・福祉の維持増進のため、民間では採算性の低い地域において公的診療所を維持し、地域医療サービスを提供する。		
	診療科 内科、小児科、外科(開設：平成2年4月2日)		
	職員 医師1名、看護師2名、非常勤事務職員事務1名(嘱託)		
	【事業の成果】		
	鳥取市立病院との医薬品共同購入等による経費の節減及び人間ドックをはじめとする各種健診の積極的な実施により、収益向上に努めた。また、介護サービス空白地の解消のため、平成25年に開設した訪問リハビリ事業も在宅サービスの向上につながっている。		
佐治診療所(医科)の運営に要する経費			
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
年間診療日数	216日	210日	212日
年間件数	5,990件	6,275件	5,751件
1日平均	27.7件	29.9件	27.1件
訪問リハビリ	190件	265件	200件
年間収入	97,426,816円	103,255,292円	112,736,937円
年間支出	84,295,422円	78,050,696円	86,253,466円
収支差引	13,131,394円	25,204,596円	26,483,471円
【今後の課題・方向性】			
地域住民の健康維持を図るために常駐医師の確保が優先的な課題であり、医師派遣元の県と協力しながら医師の確保に努めるとともに、住民の健康維持を図るため、地域医療サービスの提供に努めていく。			

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	常駐医師数	100%	100%	100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小
	<input type="checkbox"/> 2. 改善継続	<input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少
	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善	<input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	<input type="checkbox"/> 4. 縮小	<input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化	<input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止
	<input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>民間では採算性の低い地域における医療の確保等の必要性を踏まえ、引き続き地域医療サービスの提供に努めていく。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	034700	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	軽費老人ホーム運営補助事業		所属名	福祉部 長寿社会課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	老人福祉法、鳥取市軽費老人ホーム運営費補助金交付要綱
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	補助金交付
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	軽費老人ホーム運営補助金			予算事業コード	01-03-01-05-25-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	在宅での生活に不安があり、家族による援助を受けることが困難な高齢者等
意図 (どのような状態にするために)	軽費老人ホームで食事の提供その他の日常生活上の支援を、所得に応じて無料又は低額な料金で利用できるようにする。
手段 (どうするのか)	社会福祉法人等が設置する軽費老人ホームに対して助成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			施設が軽減した利用料相当額に対して助成を行う	施設が軽減した利用料相当額に対して助成を行う	施設が軽減した利用料相当額に対して助成を行う	施設が軽減した利用料相当額に対して助成を行う	
	年度別実績		施設が軽減した利用料相当額に対して助成を行う 助成施設：6施設	施設が軽減した利用料相当額に対して助成を行う 助成施設：6施設	施設が軽減した利用料相当額に対して助成を行う 助成施設：6施設		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	146,298	149,761	0	
	直接経費 A	0	0	144,849	148,323	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	144,849	148,323	0		
人件費 B	0	0	1,449	1,438	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	助成施設	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		(指標の説明)	目標		0	0	6	6	6
			実績		0	0	6	6	0
	2	(指標の説明)	目標		0	0	0	0	0
			実績		0	0	0	0	0
		3	(指標の説明)	目標		0	0	0	0
	実績				0	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】地域包括ケア推進係 0857-30-8213</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P61(福020)</p> <p>【事業の概要】 軽費老人ホームのサービス提供に要する費用(事務費)のうち、社会福祉法人等が基準に基づき軽減した利用料相当額に対して助成する。</p> <p>【事業の成果】 在宅での生活に不安があり、家族による援助を受けることが困難な高齢者等が、軽費老人ホームに入所して所得に応じて無料又は低額な料金で食事の提供その他の日常生活上の支援を受けることで、健康で穏やかな生活を送れるよう支援した。</p> <p style="text-align: center;">[決算額] [助成施設] [延べ利用者数] [月平均利用者数 /12]</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">平成29年度</td> <td style="width: 25%;">132,067千円</td> <td style="width: 15%;">6施設</td> <td style="width: 20%;">3,283人</td> <td style="width: 25%;">274人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>144,849千円</td> <td>6施設</td> <td>3,258人</td> <td>272人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>148,323千円</td> <td>6施設</td> <td>3,265人</td> <td>272人</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">・・・県所管年度の6施設の実績を参考に表示。</p> <p>【今後の課題・方向性】 在宅での生活に不安があり、家族による援助を受けることが困難な高齢者等が、健康で穏やかな生活を送れるよう、社会福祉法人等が設置する軽費老人ホームに対して助成を行う。</p>	平成29年度	132,067千円	6施設	3,283人	274人	平成30年度	144,849千円	6施設	3,258人	272人	令和元年度	148,323千円	6施設	3,265人	272人
	平成29年度	132,067千円	6施設	3,283人	274人											
平成30年度	144,849千円	6施設	3,258人	272人												
令和元年度	148,323千円	6施設	3,265人	272人												

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	助成施設			100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p><small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p><small>老人福祉法に基づいて実施する「家族による援助を受けることが困難な高齢者等の支援事業」であり、必要に応じて継続実施していかなければならない事業であるとする。</small></p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	034800	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	在宅医療・介護連携推進支援事業		所属名	健康こども部鳥取市保健所 保健総務課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0		
			0	0		
			0	0		
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	在宅医療・介護連携推進支援事業費			予算事業コード	01-03-01-05-18-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	平成27～29年度に実施した「地域包括ケア推進に係るファシリテーション研修」修了者
意図 (どのような状態にするために)	医療・介護に係る多職種連携を強化し住民参加型学習会を推進するファシリテーターのスキルアップを図る
手段 (どうするか)	東部医師会へ1市4町が事業委託をし、東部地域全体の在宅生活を支える仕組みを構築していくため、厚生労働省が示す8事業の取り組みを推進している。その1つである住民への普及啓発の要となる「ファシリテーターの養成・フォローアップ研修」を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
内容	年度別計画			ファシリテーターフォローアップ研修会の開催	ファシリテーターフォローアップ研修会の開催 プレゼンター養成講座 在宅医療介護関係者意見交換会	ファシリテーター養成研修 ファシリテーターフォローアップ研修 プレゼンター養成研修 ファシリテータースキルアップ研修 在宅医療介護関係者意見交換会	
	年度別実績			2回	1回 1回 1回		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	7,473	7,418	0	
	直接経費 A	0	0	230	228	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	219	228	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	11	0	0		
人件費 B	0	0	7,243	7,190	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標	1	研修の開催	回	目標	0	0	2	2	2
				実績	0	0	2	2	0
	(指標の説明)								
	2		目標		0	0	0	0	0
			実績		0	0	0	0	0
	(指標の説明)								
3		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】企画連携係 0857-30-8521</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】当初 予算事業概要頁なし</p> <p>【事業の概要】 県東部保健医療圏の医療部門と介護部門の連携を強化し、地域の専門職を含めた安定的な支援と連携体制の確立を図ることを目的に実施。医療と介護の専門職の連携強化と住民参加型の研修啓発活動を推進するためのファシリテーターを養成するとともに、フォローアップ研修や、住民学習会や研修の講師を担うプレゼンター養成講座を実施する。 また、在宅医療介護の現場の課題をテーマに意見交換会を実施し、住民学習会等住民主体の活動へつなげていく。</p> <p>【事業の成果】 ファシリテーター・フォローアップ研修 1回開催 プレゼンター養成講座 1回 在宅医療・介護関係者意見交換会 1回</p> <p>【今後の課題・方向性】 より地域の状況に併せた住民学習会を実施していく上で、ファシリテーターの役割の強化や養成を定期的に行うとともに研修内容の再構築を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	研修の開催			100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	計画通り、研修会2回と意見交換会を実施することができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>予定していた事業は実施できた。今後はより地域の状況に併せた住民学習会の開催やファシリテーターの養成を行い、活動の充実や研修内容の再構築を行う。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	034900	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	福祉相談窓口設置事業		所属名	福祉部 地域福祉課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1302	地域包括ケアの推進				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	地域包括ケアシステムの構築(数値目標の設定なし)		0	0	運営方法	外部委託
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域福祉相談センター事業費			予算事業コード	01-03-01-01-59-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	福祉に関する悩みや不安を抱えている方々
意図 (どのような状態にするために)	課題の早期解決につなげるため
手段 (どうするのか)	社会福祉法人等との協働により、住民の皆さんの身近な生活圏域で、福祉に関する相談を一旦丸ごと受け止める窓口「地域福祉相談センター」を開設し、生活相談員や介護支援専門員などの職員が福祉課題を抱える相談者に対して助言を行ったり、専門機関へ取り次ぐ

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績			地域福祉相談センターの開設	地域福祉相談センターの運営	地域福祉相談センターの運営	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	5,000	8,335	0	
	直接経費 A	0	0	2,827	6,178	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	2,827	6,178	0		
人件費 B	0	0	2,173	2,157	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		地域福祉相談センターの設置数	個所	目標	0	0	23	25	25	
	(指標の説明) 地域福祉相談センターの設置数				実績	0	0	23	25	0
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】福祉企画係 0857-30-8202</p> <p>【10次総の施策体系】1302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P55(福007)</p> <p>【事業の概要】 介護、障がい、育児、ひきこもり、生活困窮など、複合化・複雑化する福祉課題を一旦丸ごと受け止める相談窓口「地域福祉相談センター」を身近な地域に設置し、福祉課題の早期発見・早期解決を図る。</p> <p>【事業の成果】 市民の相談しやすい環境を充実させた。 平成30年度 23センター 2,827千円(平成30年11月29日開設) 令和元年度 25センター 6,178千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 市民が相談しやすい環境づくりを進め、福祉課題の早期発見・早期解決を図る</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	地域福祉相談センターの設置数			100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>身近な地域で相談しやすい環境づくりを一層推進する必要がある。</p>		